

塚崎三丁目の皆様、こんにちは！

10月は合同防災訓練を役員会に代えて実施した関係で本号は合併号にてお送りいたします。

なお、11/2(日)の第八回役員会では下記の防災に関する内容などを話し合いました。

出席：会長 菅原、副会長 永田、副会長 沼田、A-1班 松下、B班 高井、C班 宮坂、E班 関



勉強会動画

防災に関する動画勉強会について

9/21(日)11:00～12:00に塚崎区民館にて、塚崎区主催の防災に関する動画勉強会が開かれました。当会からは永田副会長と松下班長、会長菅原が出席しました。動画は京都大学の鎌田名誉教授が南海トラフ巨大地震や富士山噴火などについて、シンポジウムで発表された内容です。鎌田氏によれば地震の周期として、来たる2030～40年のうちに南海トラフ巨大地震は必ず起きるとの見方を示し、これに誘発される形で富士山噴火も直後に起きる可能性が高いと警鐘を鳴らしました。



噴火による影響も深刻で上空を覆う火山灰によって、外出が難儀になることで経済活動が停滞し、身近なところでは、天候不順によって凶作となり食料不足に陥るなど、地震と噴火による人的・経済的な損害は、甚大なものになるとの見解を示されました。早ければ5年後にも起きるとされる、この未曾有の大災害に対して、遠い先のこととして楽観視せずに間近に迫る生死の危機として、会員の皆さまには強くご認識おきいただきたいと思います。来たる大災害への備えについては、下段の記事にて触れたいと思います。東日本大震災から、早14年が経過し薄れつつある防災意識を再認識するためにも、ぜひ本動画をご覧いただければ幸いです。

合同防災訓練について

10/5(日)9:00～12:00に風早中学校にて、塚崎区・塚崎三丁目自治会・リバティール柏自治会の合同防災訓練を行いました。当会からは6名の役員と数名の会員が参加しました。訓練では煙体験や消火体験のほか防災に関するクイズや講演などが行われ、参加者は楽しみながら、防災についての学びを深めていました。災害時、塚崎三丁目自治会の皆さまの避難先は風早中学校となりますが、避難所はあくまで自宅に住めなくなった人のための一時的な生活場所のため、原則は、在宅避難となります。



そのため、大災害への備えとして、特に大切なことは主に2つであると先の鎌田氏は唱えています。

①家を壊さない②火事を起こさないことです。避難所生活はプライバシー面や衛生面などの問題があり、受け入れ人数にも限りがあるため、慣れ親しんだ自宅で生活続ける在宅避難の環境をすぐにでも整える必要があります。①については、柏市で簡易耐震診断相談会を定期開催していますので、耐震にご不安な場合は建築士に一度相談してみましょう。②は地震後に発生の恐れがある通電火災予防のため、感電ブレーカーをぜひ設置しましょう。柏市では3000円を上限に設置費用を補助していますので、ぜひ活用しましょう（先着順）。

また①②のほかにも家具の倒壊による怪我・窒息防止のため突っ張り棒等による家具の固定化も大切です。加えて、インフラ・物流復旧までの間の飲料水・食料品、携帯トイレの備えもとても重要となります。自治会の災害対策の一つとしては現在進めているLINE回覧板の拡充によって、有事の際には会員の皆様の安否確認や災害支援情報などをご提供する場としての活用を想定しています。



ご意見について

自治会についてご意見などありましたら、役員や班長、または以下のメールアドレスまでお願いいたします。

✉ tukazaki3.jichi@gmail.com